

三原市久井歴史民俗資料館 vol.30

モーモー通信



モーモークイズに挑戦！

昔の道具クイズにチャレンジしてみましょう！



きするす

【木搥臼】

木搥臼は木臼ともいい、稲のもみすりに使った木製の臼です。平安時代にはすでに使われていました。松の木などでできており、上臼と下臼の接触面に溝がきざまれています。上臼は中心に穴が開いており、下に棒を通しもみを落とします。

上臼の取手にひもをつけ、二人向かい合って座り左右交互に半回転させると、溝でこすられすられた玄米ともみ殻が接触面から臼の周りに落ちるしくみになっています。

まるた あな
丸太に穴！？どんな

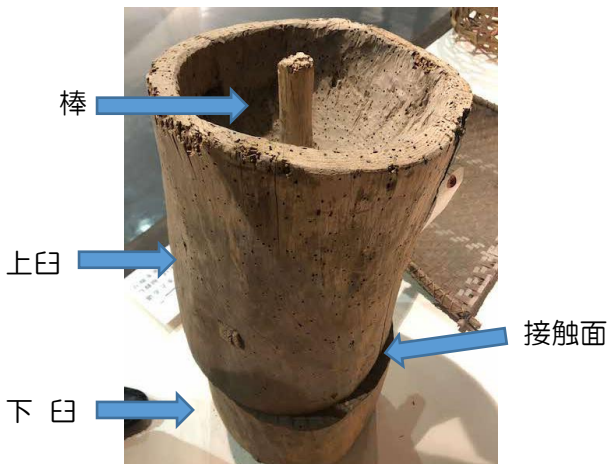
風に使った道具かな？

ヒント：お米にまつわる

- ① もみから玄米をとる
② おもちをつく
③ 米粉をつくる

せいはい
正解は ①きするす
「木搥臼」といい、もみ
すりに使った道具です。

◆ 今年もよろしくお願いいたします



使っている様子

【土摺臼】

土摺臼は土臼ともいい、土製のもみすり臼で江戸時代中期に中国から伝わりました。竹で作った円柱形のかごの中に土をいれて固め、上臼と下臼の接触面には薄い木の板が規則正しく埋められ溝状になっています。使う時は、やり木を使い2～3人で回しました。久井地域では牛が引いて回すこともあったそうですよ。



使っている様子

も〜大変！

*やり木という T 字の棒を使って、押したり引いたりする(往復運動を回転運動にかえる)クランク式で臼を回しました。



やり木

◆企画展 開催中◆

現在、資料館の第4展示室にて企画展「田んぼの道具大集合！」を開催しています。来館者先着 100 名様に、どんぐりのモーモーストラップをプレゼント♪*ストラップ、まだまだあるも〜



★「モーモー通信」は HP でも★

<https://www.city.mihara.hiroshima.jp/site/kyouiku/107409.html>



つづきは資料館で ...

〒722-1303

三原市久井町下津 1397

三原市久井歴史民俗資料館

TEL・FAX 0847-32-7139

休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合、翌日休館)、年末年始

アクセス 中国バス久井中停留所下車

いあんない図

